学校番号	2001

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	精選古典探究（古文編）・精選古典探究（漢文編）　（東京書籍）						
副教材等	・『新訂版常用国語便覧』（浜島書店） ・『解法古文単語 350』（数研出版） ・『大学入試　国語頻出問題 1200　五訂版』（いいずな書店） ・『古文常識も学べる新明説総合古典文法』（尚文出版） ・『古文常識も学べる新明説総合古典文法ノート』（尚文出版） ・『サウスポインター高校漢文』（数研出版） ・『新成 古文 大学入学共通テスト対策 新装版』（尚文出版） ・『新版 漢文句法マスターノート』（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章の概要や要点を把握し、確かな読解力と幅広い知識を身に付ける。
・重要古文単語、古文文法、漢文句法を理解し、読解に活かせるようにする。
・論理的思考力や想像力を育むため、自身の考えを他者へ発信するよう努める。

2　学習の到達目標

（ａ）古文、漢文の読解に向けた、実践的な知識・技能を身に付ける。
（ｂ）作品成立の背景や他作品との関連性を踏まえつつ作品に触れ、深い解釈へと至ることで、自身のものの見方、感じ方、考え方を深める。
（ｃ）古典文学の学習を通して、我が国の伝統文化としての古典の重要性を理解し、主体的に学ぼうとする意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	作品成立の背景や他作品との関連性を踏まえつつ古典作品を読むことで、深い解釈へ至り、作品の真の価値を考察できる。また、古典作品を基に、自身の思いや考えを広げ深めることができる。	古典作品を主体的に読み深めることを通し、我が国の伝統文化としての古典の重要性を理解し、現代社会における古典の意義や価値を考察できる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文(随筆) ［教材］ 『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」	a:古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c:進んで作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	漢文(小話) ［教材］ 「漱石枕流」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[　読　]:必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 c:進んで漢文の読み方を確認し，学習課題に沿って，故事成語の果たす役割について考えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	古文(日記文学) ［教材］ 『更級日記』 「物語」	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[　読　]:文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c:他作品との関係性を読み解くなかで、本文を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	漢文(思想) ［教材］ 「仁人心也、義人路也」	a:漢文の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景を理解している。 b[　読　]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:思想について読み解く中で、その意義や価値を自分なりに理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
二学期	古文(物語) ［教材］ 『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「若紫」	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[　読　]:文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c:作品世界へ積極的に入り込み、自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	漢文(思想) ［教材］ 『荀子』 「人之性悪」 『老子』 「小国寡民」	a:我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[　読　]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:作品の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二学期	古文(評論) ［教材］ 『近代秀歌』	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c:進んで歌論の論旨を把握し，学習課題に沿って和歌と歌論について自らの考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート
	漢文(史伝) ［教材］ 『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」	a:我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:史実を理解し、物語の世界へ積極的に入り込み理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
三学期	古文(歴史物語) ［教材］ 『大鏡』 「花山天皇の出家」	a:古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b[読]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:史実を理解した上で、深い本文理解に達しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	古文(物語) ［教材］ 『平家物語』 「忠度の都落ち」	a:古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c:進んで軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し，学習課題に沿って描かれた人物像を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　８０　）時間